

大分工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	地域日本文学
科目基礎情報					
科目番号	R05G401		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般科目		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	〔教科書〕 授業配布プリントをテキストとする。 〔参考図書〕 特になし。				
担当教員	広瀬 裕美子				
到達目標					
(1) 地域（主に大分）に関わる古文・漢文・現代文に親しみ、読解や鑑賞の基礎力・応用力・物事を多面的に捉える力を身につける。（提出課題・定期試験） (2) 古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につける。（提出課題・定期試験） (3) 文章の内容や問いに対して的確に文章にまとめる要約力や作文力を身につける。（提出課題・定期試験） (4) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の語彙力をつける。（語彙テスト・定期試験）					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	地域に関わる現代文・古文・漢文に親しみ、読解や鑑賞の基礎力・応用力・物事を多面的に捉える力を十分身につけている。		地域に関わる現代文・古文・漢文に親しみ、読解や鑑賞の基礎力・応用力・物事を多面的に捉える力を身につけている。		地域に関わる現代文・古文・漢文に親しみ、読解や鑑賞の基礎力・応用力・物事を多面的に捉える力を身につけていない。
評価項目2	古文・漢文の読解の基礎力・応用力を十分身につけている。		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけている。		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけていない。
評価項目3	文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる要約力や作文力を十分身につけている。		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる要約力や作文力を身につけている。		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる要約力や作文力を身につけていない。
評価項目4	常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の語彙力を十分身につけている。		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の語彙力を身につけている。		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の語彙力を身につけていない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (C1) JABEE 1.2(b) JABEE 1.2(g)					
教育方法等					
概要	・地域（主に大分）に関わる古今の文学作品(現代文・古文・漢文)を読み、読解・鑑賞を通して関心や理解を深める。 ・「語彙テスト」を授業及び定期試験で実施し、基礎的語彙力を身につける。 〔科目情報〕 教育プログラム第1学年 ◎科目 関連科目 日本語表現法(前期), 現代文(3年), 卒業研究(5年)				
授業の進め方・方法	・基本的に講義を中心に学習。 〔事前学習〕 ・語彙プリントの見直しをしておくこと。				
注意点	〔履修上の注意〕 ・課題提出を評価して、課題点(30点満点)とする。 ・授業で用いたプリントは試験の範囲になるので必ず保管しておくこと。 〔自学上の注意〕 ・本文読了を始め、課された課題は指定期日までに必ず提出すること。				
評価					
〔総合評価〕 ・総合評価=(2回の定期試験の平均点)×0.7+(課題の平均点)×0.3 〔単位修得の条件について〕 ・総合評価60点以上。 〔再試験について〕 ・総合評価が59点以下の学生に対して実施。					
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	ガイダンス	
		2週	古文	散文〔古文〕読解鑑賞	
		3週	現代文(1)	随筆小説 読解鑑賞	
		4週	漢文	韻文〔漢詩〕読解鑑賞	
		5週	現代文(2)	随筆小説 読解鑑賞	
		6週	現代文(3)	随筆小説 読解鑑賞	
		7週	現代文(4)	随筆小説 読解鑑賞	
		8週	現代文(5)	随筆小説 読解鑑賞	
	4thQ	9週	後期中間試験	到達目標(1)(2)(3)(4)	
		10週	後期中間試験の解答と解説 語学〔方言学〕	誤答箇所の確認・復習 語学的考察〔方言〕	
		11週	現代文(6)	随筆小説 読解鑑賞	
		12週	現代文(7)	随筆小説 読解鑑賞	
		13週	現代文(8)	随筆小説 読解鑑賞	

		14週	現代文(9)	随筆小説 読解鑑賞				
		15週	学年末試験	到達目標(1)(2)(3)(4)				
		16週	学年末試験の解答と解説	誤答箇所の確認・復習				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	後3,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16		
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	後1,後9		
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	後1,後9		
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	後1,後9		
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	後1,後9		
				伝統的な言語文化への興味・関心を広く持ち、その特徴を説明できる。	3	後2,後4,後9,後10		
				いくつかの代表的な古典に描かれた、ものの見方を理解し、自分の意見を述べることができる。	3	後2,後4,後9,後10		
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14		
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14		
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14		
						新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	後4,後9,後10		
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16		
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14		
評価割合								
		試験		課題	合計			
総合評価割合		70		30	100			
基礎的能力		70		30	100			
専門的能力		0		0	0			
分野横断的能力		0		0	0			